

R4 経営方針

たいし ぎょうじん

協和中学校の校訓 『 **大志行深** 』

小・中学校、子ども園、そして地域との連携を推進して教育効果を高める。
目標や夢を「大志」とし、人生の修練坂を登ることで自立した人間育成を目指す。

1 教育目標

心ゆたかに 強くゆかしく

心ゆたかに 思いやりの心を育てる
◇人間愛の大切さの体得 ◇感動できる心の育成

強く 心と体を鍛える
◇生きぬくたくましさの育成 ◇働くことの喜びの体得と意義の理解

ゆかしく 基礎学力の向上を図る
◇自ら学ぶ意欲と態度の育成 ◇生徒の個性と能力の伸長

総合的な学力

- 自立** = 思考・判断・表現、実践
- 自律** = 自己制御、自己評価、メタ認知
- 共生** = コミュニケーション、社会参加
役割の遂行



将来の生活へ

- 精神的自立** 生活の自立
- 社会的・職業的自立**
- 生涯学習** 生涯スポーツ
- 家庭生活の確立と社会との関わり**



支えるものとして

大志行深の全校の取組
目標実現のために、苦しさや困難に立ち向かい、打ちかつ体験を重ねさせる。

体験学習の重視
実体験を通して経験を積み、将来を見つめさせ、自立心を育てる。

多様な生徒会活動の充実
家庭とも連携して自尊感情を高め、生きがいを見付けさせる。

2 目指す姿

【目指す生徒像】	【目指す学校像】	【目指す教師像】
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 進んで挨拶ができる生徒 <input type="checkbox"/> 思いやりの心をもつ生徒 <input type="checkbox"/> 役割に責任をもつ生徒 <input type="checkbox"/> 自ら進んで行動する生徒 <input type="checkbox"/> 地域に貢献する生徒 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 安心安全な学校 <input type="checkbox"/> 明るく笑顔あふれる学校 <input type="checkbox"/> 生徒の資質を伸ばす学校 <input type="checkbox"/> わくわく感のある学校 <input type="checkbox"/> 地域に開かれた学校 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 笑顔を大切にする教師 <input type="checkbox"/> 当たり前を為し得る教師 <input type="checkbox"/> 生徒から信頼される教師 <input type="checkbox"/> 生徒と共に成長する教師 <input type="checkbox"/> 多方面と連携できる教師

3 経営の基本

正義は勝つ ～正しいことが認められる学校～

- ・ 善悪の判断ができ、素直に過ちを認める生徒の育成
- ・ 思いやりの心もち、他人の痛みがわかる生徒の育成
- ・ 自分と違う意見を排除せず、受け入れる生徒の育成



- ・ 生徒相互が信頼し合い、安心して生活できる学校
- ・ 授業に集中でき、何でも話し合える学校
- ・ 創造力が育まれ、わくわく感のある学校



大志をもつ生徒、人を幸せにする生徒

4 本年度の重点

(1) 豊かな心と体の育成 〈生活力の向上〉

■温かく強い心を育てる

- ・ 生徒指導を重視した学級経営と部活動経営
- ・ 生徒の実態に合わせた、心を育てる「特別の教科 道徳」の指導工夫
- ・ 多様な生徒会活動の推進（協中自治の日、貢献ジャー、あいサーズday）
- ・ 丁寧な清掃（水拭き、トイレ）による古い校舎への愛護

■健康で逞しい体を育てる

- ・ 心身健康のため生徒や家庭への働きかけ（感染症対策、養護教諭との連携、生活習慣）
- ・ 協中スポーツテスト上位者表彰、体力づくりコーナーの設置（体育館入り口）
- ・ 毎日の修練坂登下校や各部活動（駅伝）等による体力の向上

■強く生き抜く力を育てる（いじめ・不登校の防止と改善）

- ・ 日常の観察指導と生活ノートや教育相談による生徒理解
- ・ アンケート調査を基にした未然防止と早期発見＝生徒指導の「さしすせそ」を意識
- ・ 生徒会の「All For One運動」&「パープルリボン運動」による“いじめの根絶”
- ・ 保護者との面談（年1回以上）による共通理解（会話なくして信頼なし）
- ・ 「さわやか委員会」を主とした組織対応
- ・ 関係機関との連携による効果的な情報モラル教育の推進

(2) 確かな学力の向上 〈授業で勝負〉

■基礎・基本の確実な定着

- ・ 共通実践事項の理解とPDCAサイクルを生かした校内共同研究の充実
- ・ TTをはじめとする個に応じた、きめ細かな指導の充実（少人数加配）
- ・ 全国や県学習状況調査等の結果を活用した指導方法の改善
- ・ 全職員による一勉ノートのチェックと効果的な家庭学習の工夫
- ・ 外部人材を活用した学習や活動
- ・ 教科横断的な教科間の付け（全職員一人一授業）

■「主体的・対話的で深い学び」の視点立った授業の実施

- ・学ぶ目的意識と見通しをもつことができる学習課題やめあての設定
- ・教科の枠を越え、授業の中で育む生徒像の明確化
- ・学び合いから自分の考えを深め広めさせる工夫
- ・協中スタイルによる授業規律、共通実践事項等の確立（生徒同士による授業参観）

■学習環境等の整備・充実

- ・小・中連携授業や三中合同連携行事等関係機関との交流を深めるネットワークの充実
- ・タブレット（ICT）、視聴覚教材、図書室、公共施設の活用
- ・インクルーシブ教育の理解とユニバーサルデザインの実践
- ・空き教室の有効活用（英語科教室、数学科教室等）

（3）人間関係形成能力・社会形成能力の向上 〈関わる能力の向上〉

■社会と関わるコミュニケーション能力の向上

- ・グローバル社会で必要とされる資質や能力の育成
- ・地域に根ざしたあいさつ運動の継続
- ・人前や公の場で自主的に発表できる、誰とでも話し合える機会の設定

■協和の未来を支える生徒の育成

- ・ふるさとと関わる主体的な生徒活動の推進（社会性・協調性）
- ・地域貢献を意識した活動の充実（グランドゴルフ交流会、地域学校協働本部）
- ・地域と連携したキャリア教育の充実（職場体験・職場訪問活動）
- ・防災意識の高揚を図る防災教育の実践（園・小・中合同引渡訓練）

■目指す自己イメージの形成

- ・自己の将来設定を可能にするキャリア教育の充実
- ・社会に関心をもち、多角的に判断できる人間力の育成（NIE活動）
- ・「大志行深」「正義は勝つ」への支援と共有

（4）学校運営面の改善 〈対応力のある学校〉

■カリキュラムマネジメントの推進

- ・研究主任を中心とした、校内共同研究体制の充実
- ・学習指導要領の改訂に伴う学習指導
- ・学校改善につながる学校評価（保護者・生徒・職員による評価、学校評議員会等）

■働き方改革の推進（多忙化の解消）

- ・教職員間の協力（コミュニケーションによる信頼関係、不得意分野の助け合い
ミスの補い合い、年次のとりやすい職場、ストレスの軽減→不祥事の防止）
- ・業務の一元的管理（保存文書の見える化）
- ・勤務時間の管理（出勤・退勤時間等の把握）
- ・「大仙市協和中学校部活動方針」を基にした、適正な部活動の運営（部活数の削減）
- ・毎月1回のリフレッシュ・デイ（RD）を職員会議の日に設定
- ・「行事の振り返り」による学校行事の改善
- ・外部人材の活用（部活動指導員、SC、地域C、地域人材等）